

日本海側や東北地方は大雪のようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

寒くても換気が求められるなど、例年とは違う冬が到来。

日々の業務、学生の生活指導に苦慮されていることと思います。

◆ 第33回 日本語弁論大会 出場校決定！

来年の2月8日に開催する「第33回日本語弁論大会」には、以下の11校が出場することになりました。

第33回 全国専門学校 日本語学習外国人留学生 日本語弁論大会 出場校

麻生外語観光&製菓専門学校
ECC 国際外語専門学校
エール学園
大阪 YMCA 国際専門学校
外語ビジネス専門学校
関西外語専門学校
新宿日本語学校
専門学校アジア・アフリカ語学院
福岡外語専門学校
文化外国語専門学校
横浜デザイン学院 (50音順)



前回の様子



出場校が例年より少ない11校ということで、執行役員会で表彰について検討し、優秀賞と審査員特別賞を1名ずつ減らし、表彰者を以下の人数に変更いたしました。ご承知おきください。

最優秀賞・文部科学大臣賞	1名	
優秀賞	2名	
審査員特別賞	1名	
外務大臣賞	1名	合計5名

どんなスピーチを聞くことができるのか、今から本当に楽しみです。発表者も指導する先生方も頑張ってください！

◆ 中国大使館を名乗る詐欺にご注意！

会員校から留学生を狙った詐欺に関する報告がありましたので、共有いたします。中国語の電話で中国大使館職員を名乗って巧みに話しかけ、金銭を要求する手口です。学生にかかってきた電話の内容は次の通りです。

「上海で違法パスポートを使った人が捕まりました。
その違法パスポートにはあなたが提供した情報が
含まれている疑いがあります」

「上海公安部からの通知には、2時間以内にあなたの
パスポート使用権がなくなると書かれています。
今から言う上海公安部の電話番号に連絡してください」

言われた電話番号に連絡するようにつこく言われることを不審に思った学生は、その電話番号ではなく、すぐに中国大使館に電話をして事実確認を行いました。その結果、そのような事実はなく金銭を要求する詐欺だということが判明しました。冷静な対応で事なきを得て何よりでしたが、これは決して他人事ではありません。

新潟の中国総領事館のホームページでは注意喚起がされています。

(日本語版) <http://niigata.china-consulate.org/jpn/lsbh/tztg/t1589942.htm>

新潟総領事館の中国版にはさらに詳細な記載があり、大使館職員その他、裁判官や検察官、警察官、DHLスタッフ、銀行員などを名乗る場合もあるとのこと。

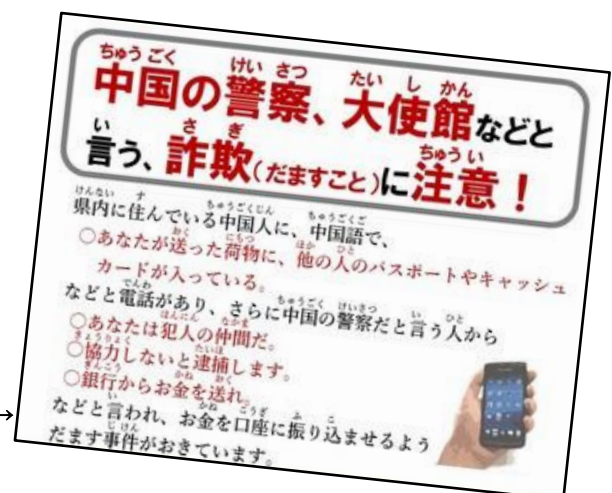
(中国語版) <http://niigata.china-consulate.org/chn/xwdt/t1815590.htm>

また、高知県では、警察が作成した注意喚起のポスターもあり、日本各地でこのような詐欺が起きていることが想像されます。

https://www.police.pref.kochi.lg.jp/sections/seian/kikaku/furikome_tokusyu_sagi_tyui_index.html

中国だけではない可能性も十分あります。学生たちが詐欺被害に巻き込まれないよう会員校の皆様は今まで以上にご注意ください。できればと思います。

高知県警察のHPより→



◆ 全学日協 オンライン研修会 開催

去る12月12日、全日本学校法人日本語教育協議会（全学日協）が主催するオンライン研修会がZoomにて開催されました。9月5日に続くオンライン授業に関する実践的な研修会で、大変有意義な時間となりました。



第1セッション 我が校のハイブリッド授業 ～使用機材・環境作り・授業の試み～

対面授業とオンライン授業を同時に行うハイブリッド授業について機材の整え方から実際の授業内容まで各校の取り組みが紹介されました。その後、グループに分かれ質疑応答や意見交換を行いました。

第2セッション オンライン授業における評価 ～自律学習への導き～

ループリックによる評価なども取りあげ、オンライン授業をどう評価するか考えました。授業中の活動だけでなく、授業以外の時間の生かし方なども含めて、参加者で意見交換しました。

全学日協には全専日協の連携会員が多いこともあって、江副隆秀先生（新宿日本語学校）、日下田誠司先生（山野日本語学校）、それに当協会の理事でもある平岡憲人先生（清風情報工科学院）から、研修会のお誘いをいつも頂戴しております。今後も、全学日協の研修会のご案内を頂いたら、会員の皆様にお知らせして参りますので、皆様是非ご参加ください。

*サイゼンセンの年内の発行はこの第52号が最後となります。
今年一年、本当にありがとうございました。
来年はいい年にいたしましょう。*

2020年12月18日
全国専門学校日本語教育協会
ニュースレター担当